

令和7年国勢調査結果速報

札幌市の人口

—要計表による人口—

札幌市

利用にあたって

- 1 本書に掲げる令和7年国勢調査の数値は、調査書類として区から提出された市区町村要計表（国勢調査員が調査の過程で作成した調査世帯一覧から作成した集計表）に基づき集計したものであり、総務省統計局が8年9月以降に公表する確定数とは必ずしも一致しない。
- 2 数値の単位未満等は四捨五入を原則としたため、合計数値とその内訳の累計値とは一致しない場合がある。
- 3 摘要表および統計表中で使用した符号は、次のとおりである。
 - 「－」 …… 皆無、もしくは該当数値のないもの
 - 「△」 …… 負数もしくは減少

札幌市まちづくり政策局政策企画部未来創生担当課
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
電話 011-211-2267 FAX 011-218-5109
<https://www.city.sapporo.jp/toukei/>

1 札幌市の人口

(1) 人口の推移

令和7年10月1日現在の札幌市の人口は1,964,034人（第1表、第1図）

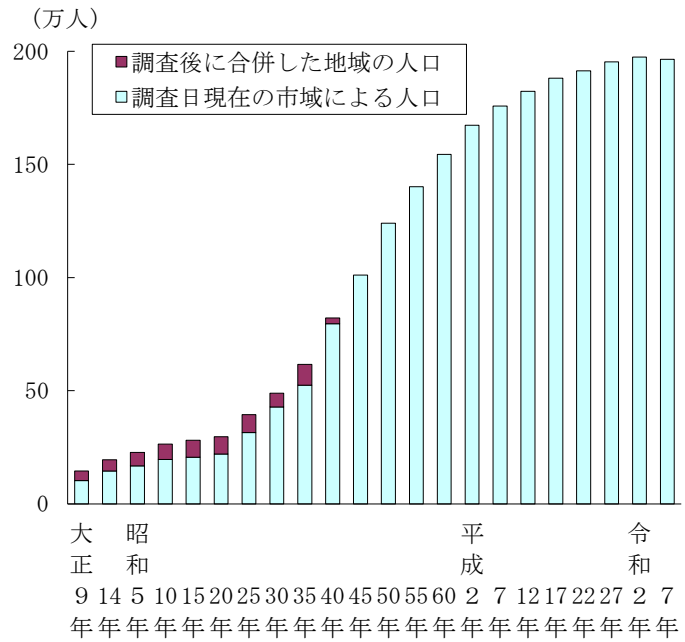
令和7年10月1日現在の札幌市の人口は1,964,034人となっている。

人口の推移をみると、大正9年の102,580人以降、一貫して増加が続き、昭和45年に1,010,123人と100万人を突破して全国で8番目の100万都市となった。

その後は、景気の停滞などによる社会増加の縮小、出生率の低下や高齢化の進行に伴う死亡数の増加などを要因として、人口増加規模は縮小傾向となるも、人口増加自体は続き、令和2年には1,973,395人と197万人を超えていた。

しかし、自然増加数の減少幅がさらに拡大したことで、7年は1,964,034人となり、大正9年の国勢調査開始以来、初めて人口減少となっている。

第1図 札幌市の人口の推移
(各年10月1日現在)



注：第1表参照。
 <資料> 総務省統計局「国勢調査」、まちづくり政策局政策企画部企画課

第1表 札幌市の人口の推移

年次	各年10月1日現在				
	調査日現在の市域による人口	現市域による組替人口	調査日現在の市域		5年間の主な変遷
			増加数	増加率 (%)	
大正9年	102,580	144,630	—	—	
14年	145,065	194,726	42,485	41.4	市制施行 (11. 8. 1)
昭和5年	168,576	227,755	23,511	16.2	
10年	196,541	264,304	27,965	16.6	
15年	206,103	281,758	9,562	4.9	
20年 ¹⁾	220,139	296,053	14,036	6.8	円山町合併 (16. 4. 1)
25年	313,850	393,756	93,711	42.6	白石村合併 (25. 7. 1)
30年	426,620	487,391	112,770	35.9	琴似町、札幌村、篠路村合併 (30. 3. 1)
35年	523,839	615,628	97,219	22.8	
40年	794,908	821,217	271,069	51.7	豊平町合併 (36. 5. 1)
45年	1,010,123	1,010,123	215,215	27.1	手稲町合併 (42. 3. 1)
50年	1,240,613	1,240,613	230,490	22.8	政令指定都市移行・区制施行 (47. 4. 1)
55年	1,401,757	1,401,757	161,144	13.0	
60年	1,542,979	1,542,979	141,222	10.1	
平成2年	1,671,742	1,671,742	128,763	8.3	白石区及び西区の分区により 厚別区及び手稲区新設 (元. 11. 6)
7年	1,757,025	1,757,025	85,283	5.1	
12年	1,822,368	1,822,368	65,343	3.7	豊平区の分区により清田区新設 (9. 11. 4)
17年	1,880,863	1,880,863	58,495	3.2	
22年	1,913,545	1,913,545	32,682	1.7	
27年	1,952,356	1,952,356	38,811	2.0	
令和2年	1,973,395	1,973,395	21,039	1.1	
7年 ²⁾	1,964,034	1,964,034	△ 9,361	△ 0.5	

注：1) 「人口調査」(11月1日)の数値である。 2) 本市独自集計(要計表による集計)結果である。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」、まちづくり政策局政策企画部企画課

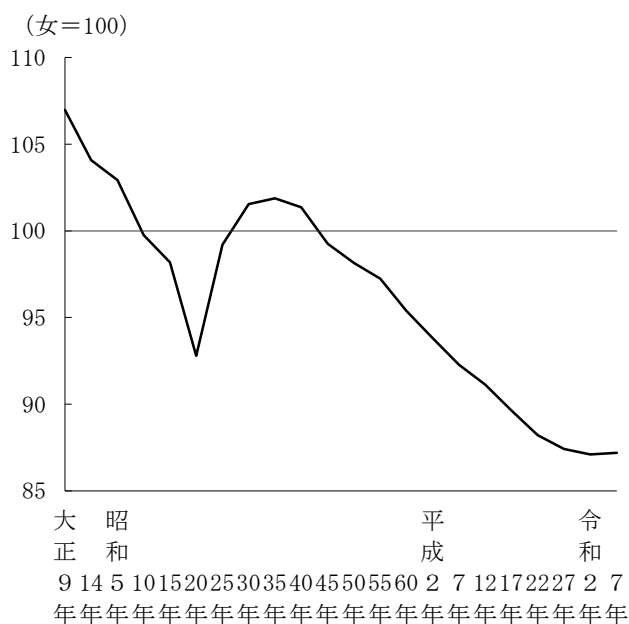
(2) 男女別人口

令和7年10月1日現在、男性は914,867人、女性は1,049,167人で、女性が男性を134,300人上回る（第2表）

令和7年10月1日現在の札幌市の人口を男女別にみると、男性が914,867人、女性が1,049,167人で、女性が男性を134,300人上回っている。2年に比べると、男性は3,815人の減少（0.4%減）、女性は5,546人の減少（0.5%減）となっている。

男女別の推移をみると、昭和40年までは、第2次世界大戦等による男性の海外派兵や死亡数が増大した時期を除いて、男性が常に女性を上回っていた。45年に女性が男性を上回ってからは、その差は年々広がっていたが、令和7年には縮小している。

第2図 性比の推移（各年10月1日現在）



注：第2表参照。
 <資料> 総務省統計局「国勢調査」、まちづくり政策局政策企画部企画課

性比は87.2で、前回より0.1ポイント上昇（第2表、第2図）

令和7年10月1日現在の札幌市の性比（女性100人に対する男性の数）は87.2で、2年（87.1）に比べて0.1ポイント上昇している。

性比の推移をみると、大正9年は107.0であったが、その後は低下が続き、昭和20年には、第2次世界大戦の影響により92.8となった。戦後、国外からの引き上げなどにより、25年に99.2となり、この5年間で6.4ポイント上昇した。その後、30年、35年、40年は101台で推移していたが、45年に100を下回ってからは再び低下が続き、令和2年は87.1で国勢調査開始以来最も低くなっていた。7年には女性の減少が男性の減少を上回り87.2と、2年に比べて0.1ポイント上昇している。

第2表 男女別人口の推移

年次	各年10月1日現在			性比 (女=100)
	総数	男	女	
大正9年	102,580	53,018	49,562	107.0
14年	145,065	73,980	71,085	104.1
昭和5年	168,576	85,509	83,067	102.9
10年	196,541	98,150	98,391	99.8
15年	206,103	102,112	103,991	98.2
20年	220,139	105,954	114,185	92.8
25年	313,850	156,290	157,560	99.2
30年	426,620	214,941	211,679	101.5
35年	523,839	264,367	259,472	101.9
40年	794,908	400,145	394,763	101.4
45年	1,010,123	503,157	506,966	99.2
50年	1,240,613	614,533	626,080	98.2
55年	1,401,757	691,057	710,700	97.2
60年	1,542,979	753,216	789,763	95.4
平成2年	1,671,742	809,185	862,557	93.8
7年	1,757,025	843,170	913,855	92.3
12年	1,822,368	868,883	953,485	91.1
17年	1,880,863	889,054	991,809	89.6
22年	1,913,545	896,850	1,016,695	88.2
27年	1,952,356	910,614	1,041,742	87.4
令和2年	1,973,395	918,682	1,054,713	87.1
7年	1,964,034	914,867	1,049,167	87.2

注：1) 「人口調査」（11月1日）の数値である。 2) 本市独自集計（要計表による集計）結果である。
 <資料> 総務省統計局「国勢調査」、まちづくり政策局政策企画部企画課

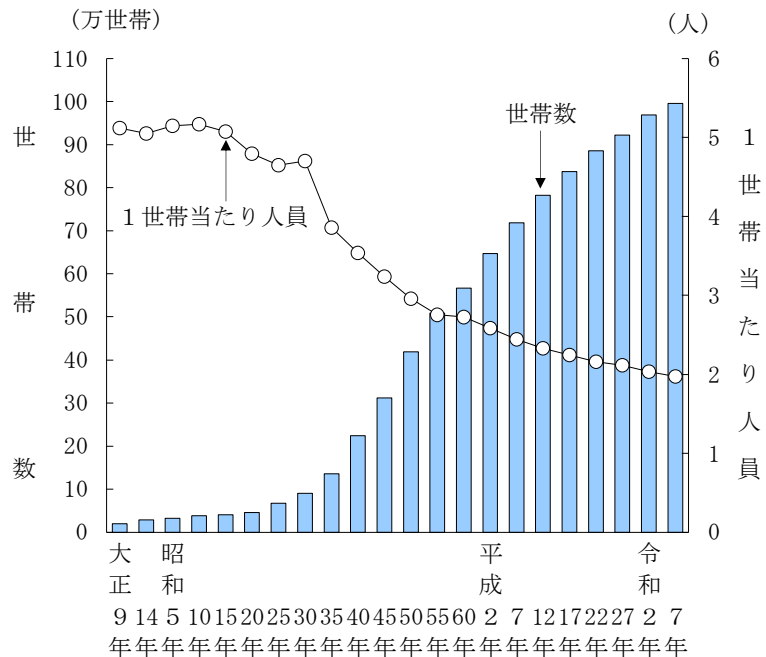
(3) 世帯数及び世帯規模

令和7年10月1日現在の世帯数は995,616世帯（第3表、第3図）

令和7年10月1日現在の札幌市の世帯数は995,616世帯で、2年に比べて、26,455世帯増加（2.7%増）している。

昭和55年以降と50年以前では世帯の定義が異なるため、55年以降について世帯数の推移をみると、55年の508,823世帯以降、世帯数は一貫して増加しており、令和7年は995,616世帯と、平成27年以降90万世帯を超えて推移している。

第3図 世帯数及び1世帯当たり人員の推移（各年10月1日現在）



注： 第3表参照。
 <資料> 総務省統計局「国勢調査」、まちづくり政策局政策企画部企画課

1世帯当たり人員が1.97人となり、2人を割る（第3表、第3図）

令和7年10月1日現在の1世帯当たり人員（以下、「世帯規模」という）は1.97人で、2年に比べて0.07人縮小している。

昭和55年以降の推移をみると、世帯数の増加率が人口の増加率を上回っているため、世帯規模は年々縮小しており、令和7年は1.97人で、2人を割っている。

第3表 世帯数及び1世帯当たり人員の推移

調査日現在の世帯の定義による。

年次	各年10月1日現在						
	世帯数	世帯人員	1世帯当たり人員	増加数		増加率(%)	
				世帯数	世帯人員	世帯数	世帯人員
大正 9年	20,041	102,580	5.12	—	—	—	—
14年	28,726	145,065	5.05	8,685	42,485	43.3	41.4
昭和 5年	32,752	168,576	5.15	4,026	23,511	14.0	16.2
10年	38,019	196,541	5.17	5,267	27,965	16.1	16.6
15年	40,602	206,103	5.08	2,583	9,562	6.8	4.9
20年 1)	45,899	220,139	4.80	5,297	14,036	13.0	6.8
25年	67,492	313,850	4.65	21,593	93,711	47.0	42.6
30年	90,764	426,620	4.70	23,272	112,770	34.5	35.9
35年	135,783	523,839	3.86	45,019	97,219	49.6	22.8
40年	224,681	794,908	3.54	88,898	271,069	65.5	51.7
45年	312,234	1,010,123	3.24	87,553	215,215	39.0	27.1
50年	419,475	1,240,613	2.96	107,241	230,490	34.3	22.8
55年	508,823	1,401,757	2.75	89,348	161,144	21.3	13.0
60年	566,287	1,542,979	2.72	57,464	141,222	11.3	10.1
平成 2年	646,647	1,671,742	2.59	80,360	128,763	14.2	8.3
7年	718,473	1,757,025	2.45	71,826	85,283	11.1	5.1
12年	781,948	1,822,368	2.33	63,475	65,343	8.8	3.7
17年	837,367	1,880,863	2.25	55,419	58,495	7.1	3.2
22年	885,848	1,913,545	2.16	48,481	32,682	5.8	1.7
27年	921,837	1,952,356	2.12	35,989	38,811	4.1	2.0
令和 2年	969,161	1,973,395	2.04	47,324	21,039	5.1	1.1
7年 2)	995,616	1,964,034	1.97	26,455 △	9,361	2.7 △	0.5

注： 1) 「人口調査」(11月1日)の数値である。 2) 本市独自集計(要計表による集計)結果である。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」、まちづくり政策局政策企画部企画課

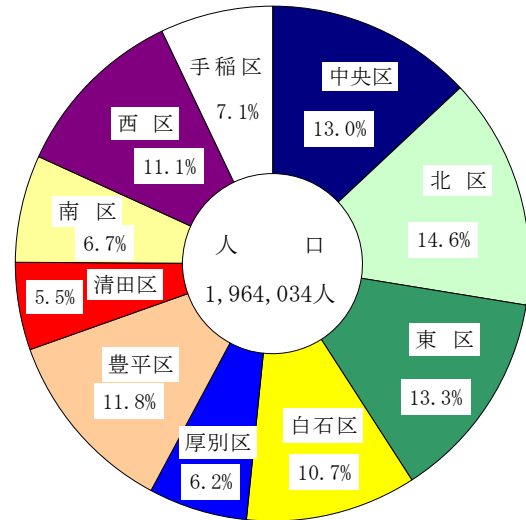
2 区別の人口

(1) 人口の推移

令和7年の区別人口は、北区が285,798人で最も多い（第4表、第4図）

令和7年10月1日現在の区別の人口をみると、北区が285,798人で全市（1,964,034人）の14.6%を占めて最も多く、以下、東区が261,249人（13.3%）、中央区が255,882人（13.0%）、豊平区が230,960人（11.8%）、西区が217,774人（11.1%）、白石区が210,753人（10.7%）、手稲区が139,146人（7.1%）、南区が132,525人（6.7%）、厚別区が122,003人（6.2%）、清田区が107,944人（5.5%）の順となっている。

第4図 区別人口の割合
（令和7年10月1日現在）



注： 第4表参照。
＜資料＞ まちづくり政策局政策企画部企画課

10区中7区で人口が減少（第4表、第5図）

令和2～7年の増加状況をみると、中央区が7,202人の増加（2.9%増）と最も大きく増加しており、以下、豊平区が5,662人の増加（2.5%増）、西区が734人の増加（0.3%増）となっている。

一方、清田区は4,411人の減少（3.9%減）と最も大きく減少しており、以下、東区は4,130人の減少（1.6%減）、北区は3,525人の減少（1.2%減）、手稲区は3,479人の減少（2.4%減）、南区は3,252人の減少（2.4%減）、厚別区は3,080人の減少（2.5%減）、白石区は1,082人の減少（0.5%減）となっている。

第4表 区別人口の推移

区	各年10月1日現在							
	人口			増加数		増加率 (%)		
	平成27年	令和2年	7年2)	27～2年	2～7年	27～2年	2～7年	
全市	1,952,356	1,973,395	1,964,034	21,039	△ 9,361	1.1	△ 0.5	
中央区	③ 237,627	③ 248,680	③ 255,882	11,053	7,202	4.7	2.9	
北区	① 285,321	① 289,323	① 285,798	4,002	△ 3,525	1.4	△ 1.2	
東区	② 261,912	② 265,379	② 261,249	3,467	△ 4,130	1.3	△ 1.6	
白石区	⑥ 209,584	⑥ 211,835	⑥ 210,753	2,251	△ 1,082	1.1	△ 0.5	
厚別区	⑨ 127,767	⑨ 125,083	⑨ 122,003	△ 2,684	△ 3,080	△ 2.1	△ 2.5	
豊平区	④ 218,652	④ 225,298	④ 230,960	6,646	5,662	3.0	2.5	
清田区	⑩ 115,726	⑩ 112,355	⑩ 107,944	△ 3,371	△ 4,411	△ 2.9	△ 3.9	
南区	⑦ 141,190	⑧ 135,777	⑧ 132,525	△ 5,413	△ 3,252	△ 3.8	△ 2.4	
西区	⑤ 213,578	⑤ 217,040	⑤ 217,774	3,462	734	1.6	0.3	
手稲区	⑧ 140,999	⑦ 142,625	⑦ 139,146	1,626	△ 3,479	1.2	△ 2.4	

注： 1) ○内の数字は、10区中の順位である。 2) 本市独自集計（要計表による集計）結果である。

＜資料＞ 総務省統計局「国勢調査」、まちづくり政策局政策企画部企画課

増加状況を前回（平成27～令和2年）と比べると、人口増加となった中央区、豊平区及び西区の3区では人口増加規模が縮小している。

人口減少となった7区のうち、厚別区及び清田区は減少規模が拡大している一方、南区は減少規模が縮小している。北区、東区、白石区及び手稲区の4区は、前は人口増加であったが、今回、人口減少となっている。

(2) 男女別人口

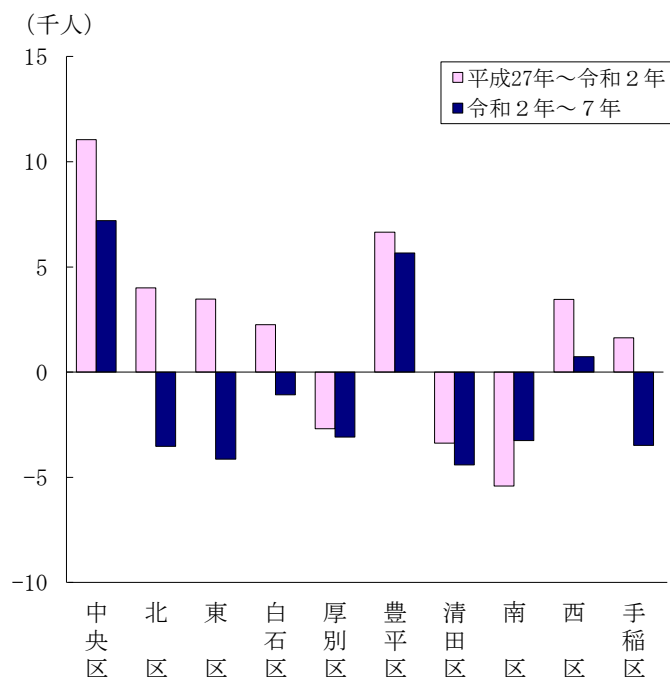
厚別区の性比が82.3で最も低い（第5表）

令和7年10月1日現在の人口を男女別にみると、男性は、北区が135,387人で最も多く、以下、東区が124,247人、中央区が116,592人、豊平区が106,835人、西区が100,211人などと続いている。

女性は、北区が150,411人で最も多く、以下、中央区が139,290人、東区が137,002人、豊平区が124,125人、西区が117,563人などと続いている。

各区の性比をみると、東区が90.7で最も高く、以下、北区が90.0、白石区が89.6、清田区が88.7、手稲区が87.8と続いており、この5区では全市の性比（87.2）をそれぞれ上回っている。一方、低い区をみると、厚別区が82.3で最も低く、続いて、中央区が83.7、西区が85.2、南区が85.7、豊平区が86.1となっている。

第5図 区別人口増加数



注：第4表参照。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」、まちづくり政策局政策企画部企画課

第5表 区、男女別人口及び区別性比

本市独自集計（要計表による集計）結果である。
○内の数字は、10区中の順位である。

令和7年10月1日現在							
区	人 口			性 比 (女=100)			
	総 数	男	女				
全 市	1,964,034	914,867	1,049,167	87.2			
中 央 区	③ 255,882	③ 116,592	② 139,290	⑨ 83.7			
北 区	① 285,798	① 135,387	① 150,411	② 90.0			
東 区	② 261,249	② 124,247	③ 137,002	① 90.7			
白 石 区	⑥ 210,753	⑥ 99,579	⑥ 111,174	③ 89.6			
厚 別 区	⑨ 122,003	⑨ 55,070	⑨ 66,933	⑩ 82.3			
豊 平 区	④ 230,960	④ 106,835	④ 124,125	⑥ 86.1			
清 田 区	⑩ 107,944	⑩ 50,751	⑩ 57,193	④ 88.7			
南 区	⑧ 132,525	⑧ 61,143	⑧ 71,382	⑦ 85.7			
西 区	⑤ 217,774	⑤ 100,211	⑤ 117,563	⑧ 85.2			
手 稲 区	⑦ 139,146	⑦ 65,052	⑦ 74,094	⑤ 87.8			

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課

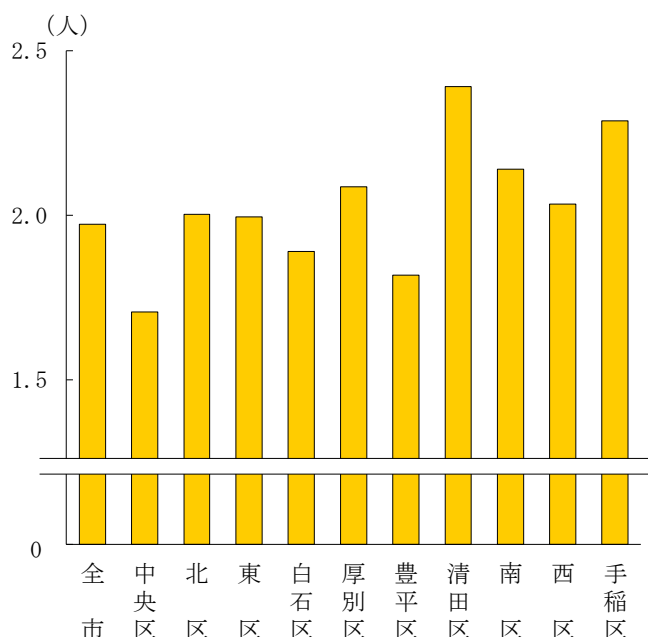
(3) 世帯数及び世帯規模

令和7年の区別世帯数は、中央区が149,983世帯で最も多い(第6表)

令和7年10月1日現在の区別の世帯数をみると、中央区が149,983世帯で最も多く、以下、北区が142,711世帯、東区が130,926世帯、豊平区が127,018世帯、白石区が111,528世帯、西区が107,051世帯、南区が61,935世帯、手稲区が60,851世帯、厚別区が58,467世帯、清田区が45,146世帯となっている。

令和2～7年の増加状況をみると、中央区が8,554世帯の増加(6.0%増)と最も大きく増加しており、以下、豊平区が8,368世帯の増加(7.1%増)、白石区が3,295世帯の増加(3.0%増)などと続いている。

第6図 区別1世帯当たり人員
(令和7年10月1日現在)



注：第6表参照。
＜資料＞ まちづくり政策局政策企画部企画課

世帯規模は中央区が1.71人で最も小さい(第6表、第6図)

区別の世帯規模をみると、清田区が2.39人で最も大きく、以下、手稲区が2.29人、南区が2.14人、厚別区が2.09人、西区が2.03人、北区と東区がともに2.00人、白石区が1.89人、豊平区が1.82人、中央区が1.71人と続き、中央区は最も大きい清田区と比べると0.68人下回っている。

第6表 区別世帯数、人口及び1世帯当たり人員

○内の数字は、10区中の順位である。

区	世帯数		世帯人員		1世帯当たり人員		世帯数の増加状況	
	令和2年	7年1)	令和2年	7年1)	令和2年	7年1)	増加数	増加率(%)
全市	969,161	995,616	1,973,395	1,964,034	2.04	1.97	26,455	2.7
中央区	① 141,429	① 149,983	③ 248,680	③ 255,882	⑩ 1.76	⑩ 1.71	8,554	6.0
北区	② 139,675	② 142,711	① 289,323	① 285,798	⑥ 2.07	⑥ 2.00	3,036	2.2
東区	③ 131,188	③ 130,926	② 265,379	② 261,249	⑦ 2.02	⑥ 2.00	△ 262	△ 0.2
白石区	⑤ 108,233	⑤ 111,528	⑥ 211,835	⑥ 210,753	⑧ 1.96	⑧ 1.89	3,295	3.0
厚別区	⑨ 57,289	⑨ 58,467	⑨ 125,083	⑨ 122,003	④ 2.18	④ 2.09	1,178	2.1
豊平区	④ 118,650	④ 127,018	④ 225,298	④ 230,960	⑨ 1.90	⑨ 1.82	8,368	7.1
清田区	⑩ 45,634	⑩ 45,146	⑩ 112,355	⑩ 107,944	① 2.46	① 2.39	△ 488	△ 1.1
南区	⑦ 62,134	⑦ 61,935	⑧ 135,777	⑧ 132,525	③ 2.19	③ 2.14	△ 199	△ 0.3
西区	⑥ 103,849	⑥ 107,051	⑤ 217,040	⑤ 217,774	⑤ 2.09	⑤ 2.03	3,202	3.1
手稲区	⑧ 61,080	⑧ 60,851	⑦ 142,625	⑦ 139,146	② 2.34	② 2.29	△ 229	△ 0.4

注：1) 本市独自集計(要計表による集計)結果である。
＜資料＞ 総務省統計局「国勢調査」、まちづくり政策局政策企画部企画課

第7表 区別世帯数・人口の推移

「国勢調査」による。現在の市（区）域に組替えた数値である。

各年10月1日現在

年次	全市	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区
	世帯数										
昭和35年	156,651	63,961	15,147	19,037	17,257	1,230	20,362	427	6,736	10,386	2,108
40年	231,120	65,729	25,809	35,282	31,243	2,504	31,334	1,281	14,674	20,023	3,241
45年	312,234	69,652	42,357	49,901	39,194	6,825	41,517	2,747	22,291	31,015	6,735
50年	419,475	76,209	59,891	67,312	47,854	13,441	55,449	7,387	32,809	46,259	12,864
55年	508,823	78,339	72,945	77,697	57,924	20,118	68,742	12,165	42,646	57,807	20,440
60年	566,287	78,398	80,192	81,204	66,059	27,699	76,660	17,942	47,541	64,415	26,177
平成 2年	646,647	83,838	91,499	88,955	78,658	37,576	83,416	25,310	51,585	70,447	35,363
7年	718,473	86,685	103,814	99,211	86,212	44,091	88,770	32,582	57,158	76,425	43,525
12年	781,948	94,210	111,448	108,132	91,494	48,759	97,557	37,939	60,955	82,758	48,696
17年	837,367	108,435	120,810	113,457	96,021	51,837	101,340	40,142	64,120	89,793	51,412
22年	885,848	120,741	127,440	118,939	100,444	54,099	107,179	42,759	62,776	96,421	55,050
27年	921,837	120,006	133,662	124,425	104,608	55,585	110,171	45,006	61,291	97,750	57,333
令和 2年	969,161	141,429	139,675	131,188	108,233	57,289	118,650	45,634	62,134	103,849	61,080
7年 1)	995,616	149,983	142,711	130,926	111,528	58,467	127,018	45,146	61,935	107,051	60,851
	人口										
昭和35年	615,628	233,250	57,959	86,346	67,134	5,844	74,746	2,369	34,984	43,223	9,773
40年	821,217	221,892	84,563	124,894	110,329	11,751	110,629	5,457	60,804	76,516	14,382
45年	1,010,123	205,388	127,647	160,723	132,693	24,789	131,646	10,767	83,933	107,774	24,763
50年	1,240,613	195,094	167,915	195,682	148,139	47,505	157,835	26,607	110,020	147,745	44,071
55年	1,401,757	181,806	195,370	213,310	161,066	66,995	177,095	41,235	128,845	169,224	66,811
60年	1,542,979	180,845	212,508	224,539	175,292	88,646	189,885	60,071	141,743	184,306	85,144
平成 2年	1,671,742	179,184	230,918	232,999	188,043	112,623	195,907	81,894	148,393	190,807	110,974
7年	1,757,025	173,358	251,419	241,319	192,102	122,738	196,126	100,521	155,650	194,308	129,484
12年	1,822,368	181,383	260,114	248,950	197,223	127,718	204,700	110,102	156,787	199,385	136,006
17年	1,880,863	202,801	272,877	253,996	201,307	129,720	209,428	112,783	153,021	207,329	137,601
22年	1,913,545	220,189	278,781	255,873	204,259	128,492	212,118	116,619	146,341	211,229	139,644
27年	1,952,356	237,627	285,321	261,912	209,584	127,767	218,652	115,726	141,190	213,578	140,999
令和 2年	1,973,395	248,680	289,323	265,379	211,835	125,083	225,298	112,355	135,777	217,040	142,625
7年 1)	1,964,034	255,882	285,798	261,249	210,753	122,003	230,960	107,944	132,525	217,774	139,146
	増加数										
35～40年	205,589	△11,358	26,604	38,548	43,195	5,907	35,883	3,088	25,820	33,293	4,609
40～45年	188,906	△16,504	43,084	35,829	22,364	13,038	21,017	5,310	23,129	31,258	10,381
45～50年	230,490	△10,294	40,268	34,959	15,446	22,716	26,189	15,840	26,087	39,971	19,308
50～55年	161,144	△13,288	27,455	17,628	12,927	19,490	19,260	14,628	18,825	21,479	22,740
55～60年	141,222	△ 961	17,138	11,229	14,226	21,651	12,790	18,836	12,898	15,082	18,333
60～ 2年	128,763	△ 1,661	18,410	8,460	12,751	23,977	6,022	21,823	6,650	6,501	25,830
2～ 7年	85,283	△ 5,826	20,501	8,320	4,059	10,115	219	18,627	7,257	3,501	18,510
7～12年	65,343	8,025	8,695	7,631	5,121	4,980	8,574	9,581	1,137	5,077	6,522
12～17年	58,495	21,418	12,763	5,046	4,084	2,002	4,728	2,681	△ 3,766	7,944	1,595
17～22年	32,682	17,388	5,904	1,877	2,952	△ 1,228	2,690	3,836	△ 6,680	3,900	2,043
22～27年	38,811	17,438	6,540	6,039	5,325	△ 725	6,534	△ 893	△ 5,151	2,349	1,355
27～ 2年	21,039	11,053	4,002	3,467	2,251	△ 2,684	6,646	△ 3,371	△ 5,413	3,462	1,626
2～ 7年	△ 9,361	7,202	△3,525	△4,130	△1,082	△ 3,080	5,662	△ 4,411	△ 3,252	734	△3,479
	増加率（％）										
35～40年	33.4	△ 4.9	45.9	44.6	64.3	101.1	48.0	130.4	73.8	77.0	47.2
40～45年	23.0	△ 7.4	50.9	28.7	20.3	111.0	19.0	97.3	38.0	40.9	72.2
45～50年	22.8	△ 5.0	31.5	21.8	11.6	91.6	19.9	147.1	31.1	37.1	78.0
50～55年	13.0	△ 6.8	16.4	9.0	8.7	41.0	12.2	55.0	17.1	14.5	51.6
55～60年	10.1	△ 0.5	8.8	5.3	8.8	32.3	7.2	45.7	10.0	8.9	27.4
60～ 2年	8.3	△ 0.9	8.7	3.8	7.3	27.0	3.2	36.3	4.7	3.5	30.3
2～ 7年	5.1	△ 3.3	8.9	3.6	2.2	9.0	0.1	22.7	4.9	1.8	16.7
7～12年	3.7	4.6	3.5	3.2	2.7	4.1	4.4	9.5	0.7	2.6	5.0
12～17年	3.2	11.8	4.9	2.0	2.1	1.6	2.3	2.4	△ 2.4	4.0	1.2
17～22年	1.7	8.6	2.2	0.7	1.5	△ 0.9	1.3	3.4	△ 4.4	1.9	1.5
22～27年	2.0	7.9	2.3	2.4	2.6	△ 0.6	3.1	△ 0.8	△ 3.5	1.1	1.0
27～ 2年	1.1	4.7	1.4	1.3	1.1	△ 2.1	3.0	△ 2.9	△ 3.8	1.6	1.2
2～ 7年	△ 0.5	2.9	△ 1.2	△ 1.6	△ 0.5	△ 2.5	2.5	△ 3.9	△ 2.4	0.3	△ 2.4

注：1) 本市独自集計（要計表による集計）結果である。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」、まちづくり政策局政策企画部企画課